

2025 年 10 月 22 日

各位

会 社 名 Chordia Therapeutics 株式会社
代 表 者 名 代表取締役 三宅 洋
 (コード番号：190A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 財務部長 岡谷 大
 TEL : 03-6661-9543
 MAIL : ir@chorditherapeutics.com

資本準備金の額の減少及び剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、2025 年 10 月 22 日付の会社法第 370 条及び当社定款の定めに基づく取締役会決議に代わる書面決議において、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分を決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 資本準備金の額の減少の目的

現在生じている欠損を填補し財務体質の健全化を図るとともに、今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保し、資本構成の最適化をすることを目的として、会社法第 459 条第 1 項の規定に基づく当社定款の定めにより、資本準備金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、増加後のその他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替え、繰越利益剰余金の欠損額の填補に充当するものであります。なお、本件は会社法第 449 条第 1 項但書の要件に該当するため、債権者異議申述の手続きは発生しません。

2. 資本準備金の額の減少の要領

会社法 448 条第 1 項の規定に基づき、資本準備金の額を減少し、同額をその他資本剰余金に振り替えます。

- (1) 減少する準備金の項目及びその額：資本準備金 4,634,982,843 円
- (2) 増加する剰余金の項目及びその額：その他資本剰余金 4,634,982,843 円

3. 剰余金の処分の要領

会社法第 452 条の規定に基づき、上記 2.の振り替え後のその他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替えることで、欠損填補に充当いたします。

- (1) 減少する剰余金の項目及びその額：その他資本剰余金 7,507,647,156 円
- (2) 増加する剰余金の項目及びその額：繰越利益剰余金 7,507,647,156 円

4. 資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の日程

(1) 取締役会決議日：2025 年 10 月 22 日

(2) 効力発生日：2025 年 10 月 22 日

5. 今後の見通し

本件は、純資産の部における科目間の振替であり、純資産額及び発行済株式総数は変更ありませんので、1 株当たり純資産額に変更が生じるものではありません。

Chordia Therapeutics 株式会社について

当社は、臨床開発品を擁するがん領域専門の研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市を本社として活動しています。私たちのリードパイプラインである CLK 阻害薬 rogocekib (CTX-712) は、米国での第 1/2 相試験を進行中です。rogocekib は、がんの脆弱性をターゲットにしており、有望な治療薬としての可能性が期待されています。また、当社は、リードパイプラインの rogocekib、MALT1 阻害薬 CTX-177 に加え、CDK12 阻害薬 CTX-439、GCN2 阻害薬など、複数のパイプラインの研究開発に取り組んでいます。

詳細は、当社ウェブサイト (<https://www.chorditherapeutics.com/>) をご覧ください。